

太田 薫 おほのた ぬる 労働運動家。明治四十五年一月一日岡山縣生れ、平成十年歿（一九二一九）。舊姓萩尾。昭和十年大阪帝國大學應用化學科卒。

十二年宇都宮素入社、二十一年同社労働組合初代組合長、二十五年合  
化労連（合成化學産業労働組合連合）委員長、二十七年總評（日本勞  
働組合總評議會）議長、四十年「ニクン」平和賞受賞、四十一年社會主  
義協會を廻り向坂逸郎と對立。太田薫研究所主宰。

著書『日本の労働運動』（昭和二十五年十一月）『日本労働法令協会』（

『現代の労働運動』（昭和二十九年一月）『二十五日労働旬報社』（可転

換期の日本労働運動―右傾化の克服と七〇年闘争』（昭和四十四年八

月五日大阪・平和書房）、『闘いのなかの「ニクン」労働運動（二十五年）』（文

化学院史跡纂寫室編、昭和四十六年六月一日青木書店）、『わが二世闘

争記―付構造不況下の合理化及び闘争』（昭和五十二年七月十五日労

働教育センター）等。